

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2002-108419 (P2002-108419A)

【公開日】平成 14 年 4 月 10 日 (2002.4.10)

【出願番号】特願 2000-294291 (P2000-294291)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 5 B 19/05

【 F I 】

G 0 5 B 19/05 S

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 7 日 (2005.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】非同期 P L C 間スケジュール管理方法及びそのシステム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 スケジュールデータを管理するスケジュール管理用 P L C と、前記スケジュール管理用 P L C とは非同期で実行スケジュールデータにより機械を制御する機器制御用 P L C 間において、1 バッチ終了毎に機器制御用 P L C の制御カウンタ値を基準に同期タイミングを調整し、同期タイミング調整後に前記スケジュール管理用 P L C より送出する制御再開信号によって前記機器制御用 P L C はシーケンスを開始することによって、非同期 P L C 間の同期タイミングを調整しスケジュールデータの管理を行うことを特徴とする非同期 P L C 間スケジュール管理方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の P L C 間スケジュール管理方法において、1 バッチ終了毎にスケジュール管理用 P L C の制御カウント値を基準に同期タイミングを調整し、同期タイミング調整後に前記スケジュール管理用 P L C より送出する制御再開信号により前記機器制御用 P L C はシーケンスを開始することによって、非同期の P L C 間の同期タイミングを調整しスケジュールデータの管理を行うことを特徴とする非同期 P L C 間スケジュール管理方法。

【請求項 3】 スケジュールデータを管理するスケジュール管理用 P L C と、前記スケジュール管理用 P L C とは非同期で実行スケジュールデータにより機械を制御する機器制御用 P L C 間において、1 バッチ終了毎に機器制御用 P L C の制御カウンタ値を基準に同期タイミングを調整し、同期タイミング調整後に前記スケジュール管理用 P L C より送出する制御再開信号によって前記機器制御用 P L C はシーケンスを開始することによって、非同期 P L C 間の同期タイミングを調整しスケジュールデータの管理を行うことを特徴とする非同期 P L C 間スケジュール管理システム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、分散制御による非同期ＰＬＣ（プログラマブルコントローラ）間のスケジュールデータ管理方法及びそのシステムに関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

そこで、本発明は、特別な設備の増設等の必要がなく、分散した非同期な異種ＰＬＣ間においてもスケジュールデータのタイミングのずれ無く管理され、大量のデータ転送にも対応してＣＰＵダウンなどが起こらない非同期ＰＬＣ間スケジュール管理方法及びそのシステムを提供することを目的としている。